

大阪南ロータリークラブ会報

第 802 号
2024 年 12 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル7階B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会 長 草島 葉子 幹 事 ハッ橋 直

第 2 回クラブフォーラム

国際・財団部門

日 時：2024 年 11 月 19 日 (火)
午後 17 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会
場 所：帝国ホテル大阪 5 階「八重の間」
北区天満橋 1-8-50 ☎ (6881) 1111
討議部門：国際・財団
形 式：バズセッション

- Cテーブル ◎大熊、藤井、松山、佐藤元、
寺川、横山慶
Dテーブル ◎由谷、樋口喜、平岡、伊藤勝、
城戸、ハッ橋
Eテーブル ◎山本ハ、相川、下條、長谷川孝、
井原、新田一
Fテーブル ◎木本、橋本、岩谷、木村、清水、
下井
Gテーブル ◎田村、天野、原田、河野、
岡本、神藤
Hテーブル ◎今西、青山、栗原、森、
澤村、世古口、上村
Iテーブル ◎堀、伊藤芳、鮫島、杣、
山本和、山田

議 題：

- ① 国際交流事業は台北中央 RC 周年事業への参加と、国際大会への参加が主となっているが、海外への渡航が必要となる。今後、より多くのメンバーが参加できる国際交流事業とはどのような事業があるか。
- ② 世界社会奉仕事業として取り組むべき海外のニーズにはどのようなものがあるか。また情報収集と実行のそれぞれの段階において、大阪南ロータリークラブのネットワークや仕組みをどのように活用・構築していくと良いか。
- ③ ロータリー財団と米山記念奨学会の概要や活動を会員が理解を深めるために、新入会員が増えている現状を踏まえ、クラブとしてどのような活動を行えば良いか。

出席者 (敬称略 順不同) 56 名

◎テーブルマスター

Aテーブル 草島、中村剛、新開、小倉宏、
小畑、末澤

Bテーブル ◎大西、羽東、上甲、川谷、
小八木、中沢、大原



1、開会挨拶：草島会長



2024-2025
のテーマ

THE MAGIC OF ROTARY:ロータリーのマジック ステファニー A.アーチック RI会長
「怒(おもいやり)の心を育む未来へ」～奉仕のところで奇跡を起こす～ 草島 葉子会長

第2回のクラブフォーラム国際奉仕・財団部門にご参加いただきありがとうございます。末澤理事に素敵な場所をセッティングしていただきました。また、キーノートスピーチとして小倉元会長からお話をさせていただきます。財団の動きは、会員から見てとても分かりづらと思います。本日は3つのテーマについて楽しみながらお話いただければと思います。よろしくお祈りします。

2、テーブルマスター指名：八ッ橋幹事

3、初参加の新入会員紹介

中沢 正和会員



4、ゼネラルリーダー議題説明：

小畑理事

今回のフォーラム議題を用意された資料に基づき説明された。



5、キーノートスピーチ：

小倉元会長

2016-17年度に会長をさせていただきました小倉です。本日は国際交流と国際奉仕の話を中心にお話しさせていただきます。当クラブには台北中央ロータリークラブというシスタークラブがあります。また、ソウル漢江ロータリークラブのRI元会長の李ドンクンさんが当クラブの名誉会員でいらっしゃいます。

台北の周年や国際大会への出席、また国際奉仕事業のために海外に行きますと色々な経験をし、思い出ができることがロータリーの醍醐味の一つだと思います。私が初めて参加した世界社会奉仕は、ネパールのバターンロータリークラブとの共同事業で井戸掘りを行いました。事業には当時の団長と副団長の総勢2名で行きました。

次に行きましたのが、ミャンマーに健康な出産と女性のための支援で行きました。その次がグローバル補助金を使ったカンボジアの医療教育支援です。プノンペンロータリークラブと台北中央ロータリークラブとの共同事業でした。

国内では鶴見子どもホスピスの事業を行いました。これは地区補助金を使った事業です。補助金の申請は結構大変でした。

特にグローバル補助金の申請は、アメリカとのやり取りですので時間との闘いになります。会長のやるぞという強い意志とメンバーの協力がないと前へ進まないところがあります。基本は人のために、そして人に喜ばれるための方針を目指していくことが大切なのではないかと思います。



6、乾杯：天野元会長

ご自身の会長時代に経験されたコロナ禍での国際関連事業の思い出と、財団に対する考え方のお話をされ、乾杯のご発声をされた。

7、テーブルマスター報告



Bテーブル：大西世界社会奉仕委員長

議題①

- ・大阪に残っている米山奨学生 OB を調査し、その OB と交流をしていくのはいかがかという意見がありました。
- ・米山奨学生学友会との交流をし、海外とのつながりをつくってはどうかという意見がありました。
- ・大阪駐在の外国人ロータリアンのメイクアップを受け入れるような仕組みをつくってはどうかという意見がありました。
- ・姉妹クラブを増やしてはどうかという意見もありました。
- ・大阪在住の外国人外交官を会員として受け

入れるようなことができれば、今後の交流と事業に広がりが出てくるのではないかと意見がありました。

- ・過去の色々な国際交流のお話をテーブルでお聞きしましたが、きっかけは個人的なつながりがスタートだと伺いましたので、個人的なつながりを調査してみることも必要だと個人的には感じました。



Cテーブル：大熊国際交流委員長

議題③

- ・新入会員インフォメーション時にロータリー財団と米山記念奨学会のお話は聞いているのですが、理解できずに入会してしまっていて、その理解の部分をなかなか紹介者がフォローできないので、新入会員とその紹介者の方にロータリー財団と米山記念奨学会の話をしてできる機会があればいいのではないかという話がありました。
- ・米山奨学生の方々が、立派に活躍されていると思いますので、そういったところを披露していただく機会があってもいいのではないか。寄付したお金で彼らが成長していることが理解できれば寄付につながるのではないか。新入会員がそのような素朴な疑問を話し合いできるような機会をつくれればいいのではないのかという話がありました。



Dテーブル：由谷ロータリー財団委員長

議題②

- ・生活を応援するのか、教育を応援するのか、またトイレなどの物質的なニーズに応えるのか、知的なニーズに応えるのか、そういう議論の積み上げが必要ではないのかという話がありました。
- ・メンバー200人いるなら、それぞれのメンバーが海外とどんな接点を持っているのか世界社会奉仕委員会が中心になってヒアリング実施するのが良いという話がありました。
- ・私の経験から東南アジアでの社会奉仕のニーズは何があるかと言いますと、都心部から離れた過疎地の医療問題にあると感じております。



Eテーブル：山本ハ米山奨学委員長

議題①

- ・国際交流事業で海外に行く場合、特に台湾だと近いので弾丸ツアーのようなプランを

企画すればいいのではないかという意見が出ました。

- ・新入会員の方に会員友好委員会だけではなく国際系の委員会に所属してもらえばいいのではないかという話が出ました。
- ・野球チームを作る話がクラブ内であるそうですが、野球チームを作れば国内はもとより海外遠征もあるのでいいのではないかという話も出ました。
- ・海外に行かないで行える国際交流は何があるかですが、日本文化が評価されているので、日本のことを学んでもらうという視点での事業を行ってもいいのではというような話が出ました。
- ・過去にもあったようですが、外国人に入会してもらおうということを検討してもいいのではないかという意見も出ました。



Fテーブル：木本ロータリー財団委員

議題③

- ・日本人を奨学生と捉えて逆輸出もあるのではないかという話もありましたが、米山奨学会創設の精神から外れますので今の段階ではできないという話となりました。
- ・過去に多くの奨学生を受け入れています、奨学生がどう成長し、母国でどういうポストについているかを紹介するようになれば、ロータリアンの興味も湧き、奨学金

が増えるのではないかという意見がありました。

- ・ロータリーの友に掲載されているので、興味を持って読めば理解できるというお話ですが、まだまだ理解しにくいので改善頂ければと思います。
- ・ロータリアンが財団寄付金のルートを理解できないという話がでましたが、本人の勉強不足だという話もありますが、深めるために PR をして説明する機会を増やすことが重要だという意見がありました。
- ・大阪南ロータリーは人数も多く寄付金も多く集まりますが、クラブによっては寄付をしても奨学生の割り当てがないクラブもあるということも知りました。
- ・新入会員に興味を持ってもらうには、紹介者が親身になって教育する必要があるという話もありました。



Gテーブル：田村米山奨学副委員長

議題③

- ・新入会員が増えている現状を踏まえなぜ米山奨学金の寄付金がショートするのかという点なのですが、入会時の説明もしくは紹介者のフォローが不足しているのではないかという意見がありました。
- ・説明のためのツールをどのように準備していくかですが、先々週の例会で由谷委員長から、初心者でもよくわかる卓話をしてい

たきましたので、そういう卓話をまず入会の時に新人の方に聞いていただいた方がいいという意見がありました。

- ・米山記念奨学会の知識や情報が不足しているので、会員の中でNHKの方がいらっしゃいますので、米山梅吉さんのファミリーヒストリー的なものを全国のロータリーで少しずつ資金を出し合って作ってみたらどうかという意見がありました。
- ・現状の奨学生たちに例会等でロータリアンと触れ合っていただく機会を多く取って寄付の使われ方を実感しない限り、寄付割合は増えないと思います。
- ・米山記念奨学会が立ち上げられた理由として、日本の戦争に関する贖罪を払拭するためであるという点について、2024年現在の国際社会問題等々を勘案すると、そろそろ贖罪を払拭し、新たな世界情勢を踏まえ、米山奨学生をどういう対象に絞るのがいいのかという話題にも及びました。
- ・民主主義を共有できる友好国の方から、積極的に米山奨学生として呼ぶという案も出ました。



Hテーブル：今西国際交流委員

議題②

- ・海外とコネクションのある方が大阪南ロータリーで多いと思います。新入会員の方が増えているので今一度全体アンケートを行

い、会員が海外のどこの国と取引があつて
どういうコネクションがあるかを調べては
どうでしょうか。

- 世界の課題やどこに困っている人がいるのかという情報を RI は持っているの、その選択肢から選ぶというのも 1 つの方法ではないでしょうか。
- グローバル補助金を使って事業をするには現地のクラブの協力が必要です。しかし、現地のクラブが取り組みたい事業と我々が取り組みたい事業は違う場合があるので、事前に現地クラブから情報を入手できれば取り組みやすくなると思います。
- カンボジアの事業がなかなか前に進まないのは、相手が動かなければ動けない。相手ありきのこの仕組みはなかなか大変だという話がありました。
- 昔の事業でコタキナバルに自転車を送った時の話として、海外との取引が企業間である方のチャンネルを利用できれば結構役立つのお話でした。
- グローバル補助金のルールが難しいので、パートナー選びは本当に大変だという話がありました。
- 苦い経験として大阪南 RAC がグローバル補助金の申請をしようとした話がありました。
- 新入会員が多く入ったので、かつての活動を知る機会が無い中、今日はいろいろと知れてよかったという意見がありました。
- 南ロータリークラブが今までどういう活動をしていて、これからどういう活動の可能性があるかということについて一度全体アンケートを取ってもいいと思いました。



I テーブル：堀青少年奉仕副委員長
議題②

- RI のホームページには全世界からの事業の情報が 있습니다。マイロータリーに登録してそこからニーズを引き出すのも 1 つの方法ではないでしょうか。
- 海外のロータリークラブにウェブなどを利用してニーズを聞くことや、海外に出張等ある方をお願いして現地のロータリークラブでメイクアップしてもらえば情報を引き出すことができるのではないのでしょうか。
- 米山奨学生から現地の生の声を聞くことや、大阪 RAC から海外の事業の情報を得るなどの方法もあると思います。その情報をロータリーとしてどのように活用し、事業構築していくかを検討してはどうでしょうか。



7、ゼネラルリーダー講評：末澤理事

今日は 3 つのテーマがありました、各テ

ーブルで1つのテーマについて考えて頂きました。最初に小倉元会長にキーノートスピーチをしていただき、続いて天野元会長にも乾杯のご挨拶をしていただきましたところ、昔ご苦労された貴重な経験談を聞くことができました。

たくさん入られた新入会員がどのようなコネクションを持っているのか、また現状の世界情勢から米山奨学生をどのような国から迎えたらいいいのか、そして海外での事業を行う場所はどんな国がいいのか、そういうことを今一度みんなで話し合う機会を持ちたいと感じました。米山梅吉翁の「ファミリーヒストリー」を知ることで、米山の精神の原点も知った上で意見を交わすことも大事だと思いました。

このように活発なお話ができる機会があり、その機会を通じて益々発展できますことを祈念し講評とさせていただきます。ありがとうございました。



8、閉会挨拶：上甲副会長

皆様お疲れ様でございました。昼の例会に続きまして夜までお付き合いいただきましてありがとうございます。末澤理事にセッティング頂き帝国ホテルにおいて、良いフォーラムができたと思っております。

本日のフォーラムでは、小倉元会長からキ

ーノートスピーチをいただき、天野元会長に乾杯のご発声を頂きました。その後テーブルマスターの皆さんにはきっちりと御発表いただき、大阪南大クラブの底力を感じた次第でございます。

小倉元会長と天野元会長にお話しいただいたことは、クラブ奉仕に該当すると思えました。メンバーがお互い仲良くして懇親を深めるというのが、ロータリー活動の根幹でそれがクラブ奉仕です。ですから、元会長もクラブ奉仕の意味合いでお話しされたと思えます。

本日のテーマであります国際奉仕と財団というのは一般の会員からは遠いテーマだと思います。私も今回初めて台湾に行かせていただきます。関与していなかったら、財団も遠いところであって、「寄付はしているけれどもよくわからない」みたいな話だと思います。

しかし、こういう機会にそれを実践している方々から直接話を聞けば、情報を共有して、体験を共有する場としてこのクラブフォーラムというのは機能しているのだと思えますし、今日の発表を聞いていますと、皆さん各テーブルで共有ができていると思えます。このクラブフォーラムはとてもいい機会だと思います。約60名の方が参加いただいておりますが、今日参加されていない方にお声がけいただき、参加促進していただければと思います。ありがとうございました。

(文責： 副幹事 清水 久博)

◇ようこそ3君！会員総数 198 名 (11月19日現在)

去る10月22日(火)に中村 訓康君、山本 径君、11月19日(火)に福本 恵美君が入会されました。

11月定例理事会

協議事項

1. 新年例会の設営について
2. 第3回クラブフォーラム(職業奉仕部門)の件
3. 出前授業の件
4. 春の家族会の件

審議事項

1. 退会届の件

報告事項

1. 第2回クラブフォーラム(国際・財団部門)登録状況
2. 新入会員研修セミナー兼懇親会登録状況
3. 次年度役員・理事指名委員会の件
4. 台北中央RC39周年記念ツアーの件
5. 年末懇親会の件
6. 第2回クラブアセンブリー開催の件
7. ニコニコの件
8. 事務局員の件
9. その他

ニコニコ箱へ

- 暁 琢也 会員から ・10番テーブル懇親会の残金をニコニコします。
- 藤岡 和子 会員から ・第二工場が竣工しました。
- 小畑 剛平 会員から ・台北周年ツアーへのご参加ありがとうございました。皆さまのご協力でトラブルもほぼ無く、おもいやりダンサーズも盛り上がりました。
来年6月は台北中央の方々を盛大にお迎えしましょう。
- 木積 智子 会員から ・当神社の本殿をはじめとする4棟の建物がこの度国の有形文化財に登録される事となりました。
- 栗原 大 会員から ・小畑理事、大熊委員長、田村マリア先生本当にありがとうございました!!
- 飯井 克典 会員から ・台北中央 RC 39周年では草島会長、八ッ橋幹事、小畑理事、大熊委員長、はじめ皆様たいへんお世話になりました。ありがとうございました。
- 中村 剛 会員から ・思いやりフラダンス 大変素敵でした。去年より格式が上がりました。
ありがとうございます。男性ダンサーは圧巻でしたが 若干3名ほど・・・
・台北中央ロータリークラブのチャーターナイト大変お疲れ様でした。
設営していただいた国際の小畑理事、大熊委員長はじめとするメンバーの皆様
大変思いやりのある設営感激でした。ありがとうございました。
- 中島 成和 会員から ・20年間皆勤を続けてきましたが、8月から入退院を繰り返し、3か月間の長期欠席をしてしまいました。ぼちぼち頑張ります。
- 大熊 直子 会員から ・台北ツアー無事終了できました。皆さまのご協力に感謝いたします。
田村マリアさんはじめおもいやりダンサーズの皆さまお疲れさまでした。
ものすごく盛り上がり、大成功!岸上副委員長からのプレゼント、ピンクのパーカー好評でしたので、次年度へ引き継ぎいたします!
皆さま本当にありがとうございました。
- 篠原 準治 会員から ・年末懇親会楽しみにしております。
- 神藤 佳浩 会員から ・小畑理事、大熊委員長、台北では大変お世話になりました。個人的な報告ですが、検査の結果骨は折れていないとの診察でしたが、未だ咳をすると激痛です。
以上、報告をさせていただきます。
- 谷村 一行 会員から ・おかげ様をもちまして、先週、累計4人目の娘が誕生いたしました。母子ともに元気であることに感謝いたします。
- 山本 和良 会員から ・台北中央 RC の周年では、小畑理事、大熊委員長はじめ国際交流委員会の皆様には大変お世話になりました。お陰様でとても楽しい旅になりました。ありがとうございました。草島会長筆頭に女性陣のフラダンスとても素敵でした。昨年とは違い、品がありました。
- 米田 秀弥 会員から ・小畑理事、大熊委員長、台北ありがとうございました。
- 横山順治郎 会員から ・先日の地区大会に於いて顕彰者昼食会にご招待を受け他クラブの皆様方と久しく懇談が出来ありがとうございました。

本年度目標額 600万 12月 10日現在 累計 3,339,670 円